



Ideas & Chemistry

2017.5.11

2016年度決算 補足資料



東洋紡株式会社

決算のポイント

16年度実績

- 営業利益は 233億円(0.9%増)にとどまり、当期純利益は減益
- バグフィルター用PPS素材やアクリル繊維が、中国向けで苦戦。
また、ブラジル繊維事業は、環境変化を踏まえ、休止
- “コスモインSRF”は大幅増収、エアバッグは海外展開進む

17年度予想

“コスモインSRF”やエアバッグの拡大、PPS素材の改善などを見込むも、
原料価格の上昇を織り込み、営業利益は250億円を予想

	15年度			16年度		(億円)	直近予想 (2017/2)
	上期	下期		上期	下期		
売上高	1,797	1,681	3,478	1,647	1,648	3,295	3,400
営業利益	105	126	231	107	127	233	230
特別損失	11	38	49	33	39	72	52
親会社株主に帰属 する当期純利益	54	48	101	37	58	94	100

I . 2016年度決算概況

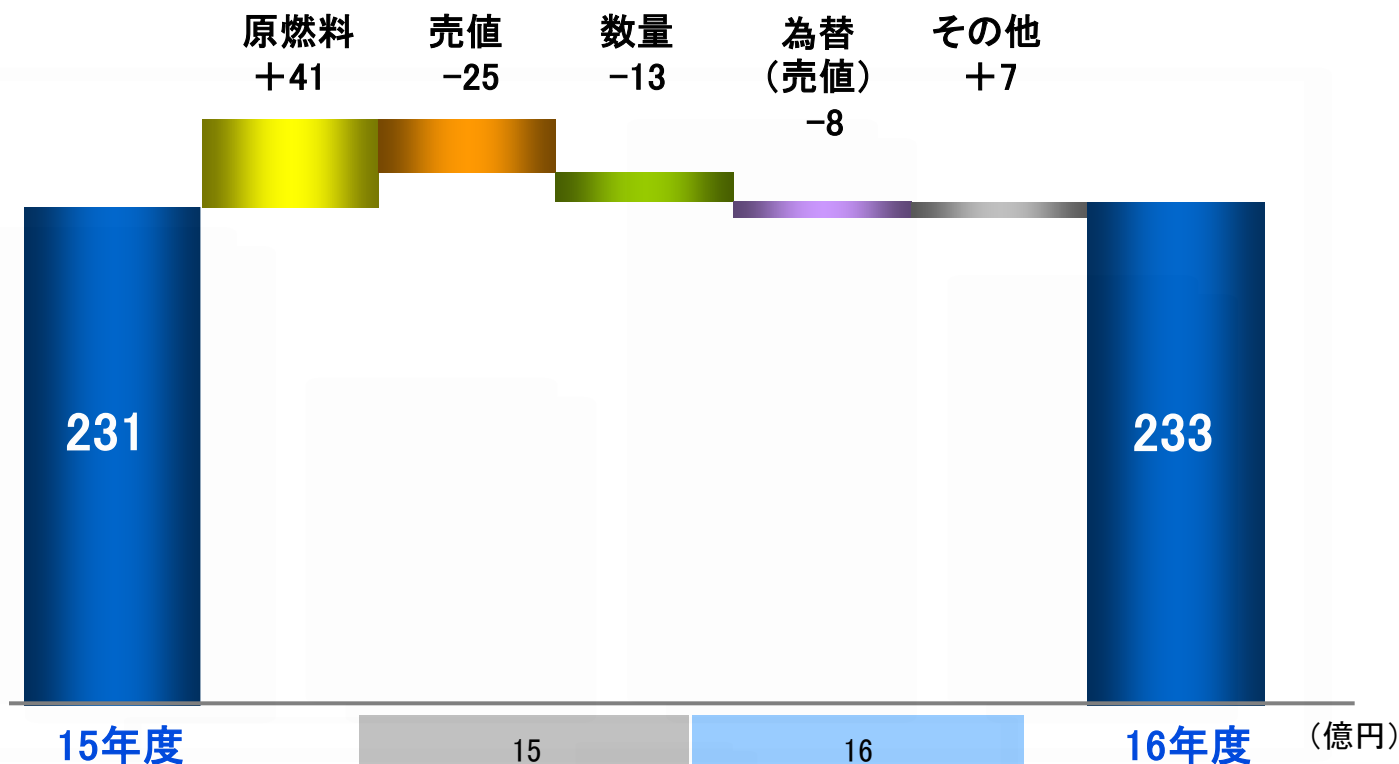
(1) 決算概要 ① PL・CF

(億円)

	15年度	16年度			増 減		直近予想 (2017/2)
		上期	下期		金額	%	
売上高	3,478	1,647	1,648	3,295	-183	-5.3%	3,400
営業利益	231	107	127	233	+2	+0.9%	230
(営業利益率)	6.6%	6.5%	7.7%	7.1%	-	-	6.8%
経常利益	204	87	119	207	+3	+1.3%	200
特別損失	49	33	39	72	+23	+47.4%	52
親会社株主に帰属 する当期純利益	101	37	58	94	-7	-6.9%	100
EPS(円)	11.43	4.12	6.52	10.64	-	-	
減価償却費	144	73	76	149	+5	+3.5%	
設備投資	173	78	105	184	+10	+5.9%	
営業CF	323	106	162	269	-55	-16.9%	
為替レート(円/US\$)	120	105	112	109			
国産ナフサ価格(千円/kl)	43	32	38	35			

営業利益増減要因分析(前年同期比)

【15年度→16年度】



	15			16		
	上	下		上	下	
円レート (円/US\$)	122	118	120	105	112	109
国産ナフサ (千円/k)	48	38	43	32	38	35

16年度 (億円)

② BS

	(A)			(B)	(億円)
	15/3末	16/3末	17/3末	増減 (A) → (B)	
総資産	4,658	4,446	4,508	+62	
現預金	206	203	323	+121	
棚卸資産	824	753	728	-26	
純資産	1,611	1,601	1,709	+108	
自己資本	1,580	1,569	1,678	+109	
(利益剰余金)	325	395	459	+64	
(退職給付に係る調整累計額)	-16	-57	-23	+35	
非支配株主持分	31	32	31	-0	
有利子負債	1,771	1,654	1,692	+39	
D/E レシオ	1.12	1.05	1.01		

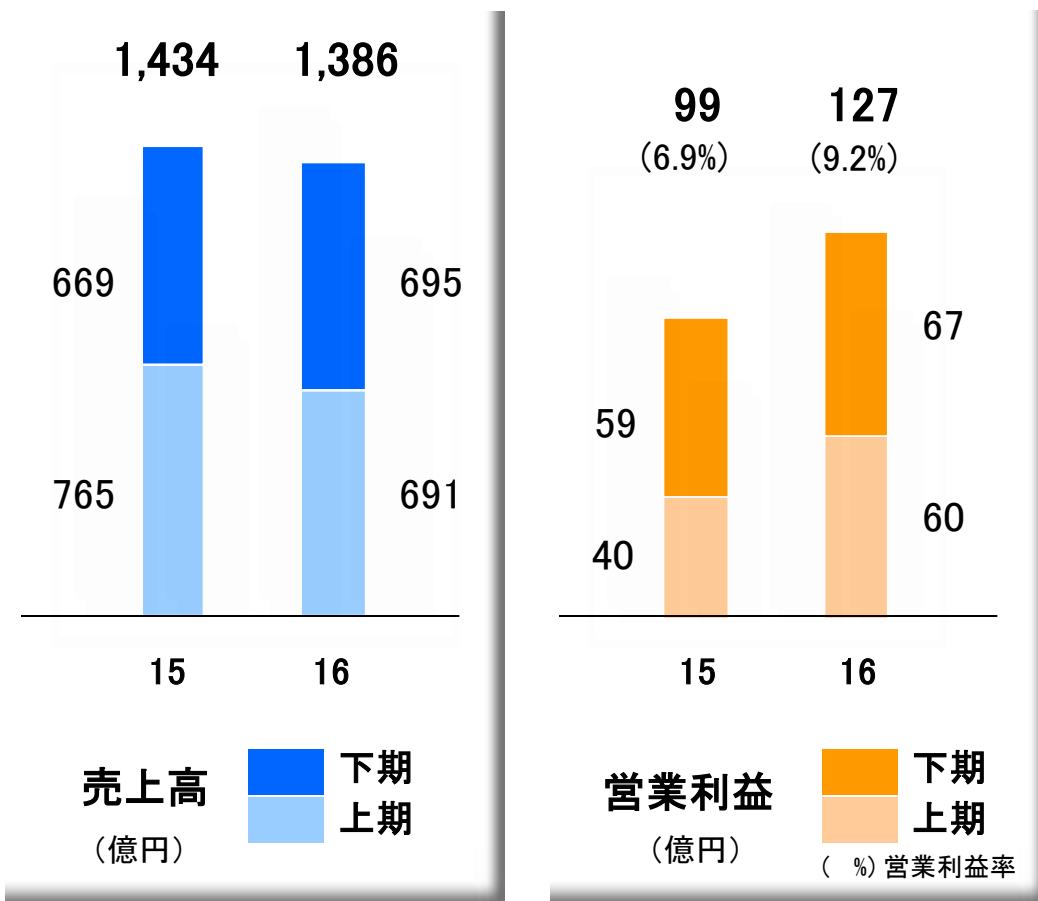
(2) セグメント別

(億円)

	売上高				営業利益				増減
	15年度	16年度		15年度	16年度				
		上期	下期		上期	下期			
フィルム・機能樹脂	1,434	691	695	1,386	99	60	67	127	+28
産業マテリアル	705	324	368	692	63	20	28	48	-15
ヘルスケア	277	145	127	271	47	19	24	43	-4
繊維・商事	855	398	377	776	25	4	6	11	-14
不動産・その他	206	89	81	170	28	17	16	33	+5
消去・全社	-	-	-	-	-32	-15	-15	-29	+2
合計	3,478	1,647	1,648	3,295	231	107	127	233	+2

① フィルム・機能樹脂

包装用フィルムは、原料価格の影響で減収
工業用フィルムは、コスモサインSRFの出荷拡大



● 包装用フィルム

- ・需給バランス堅調
- ・生産設備の最適化進む

● 工業用フィルム

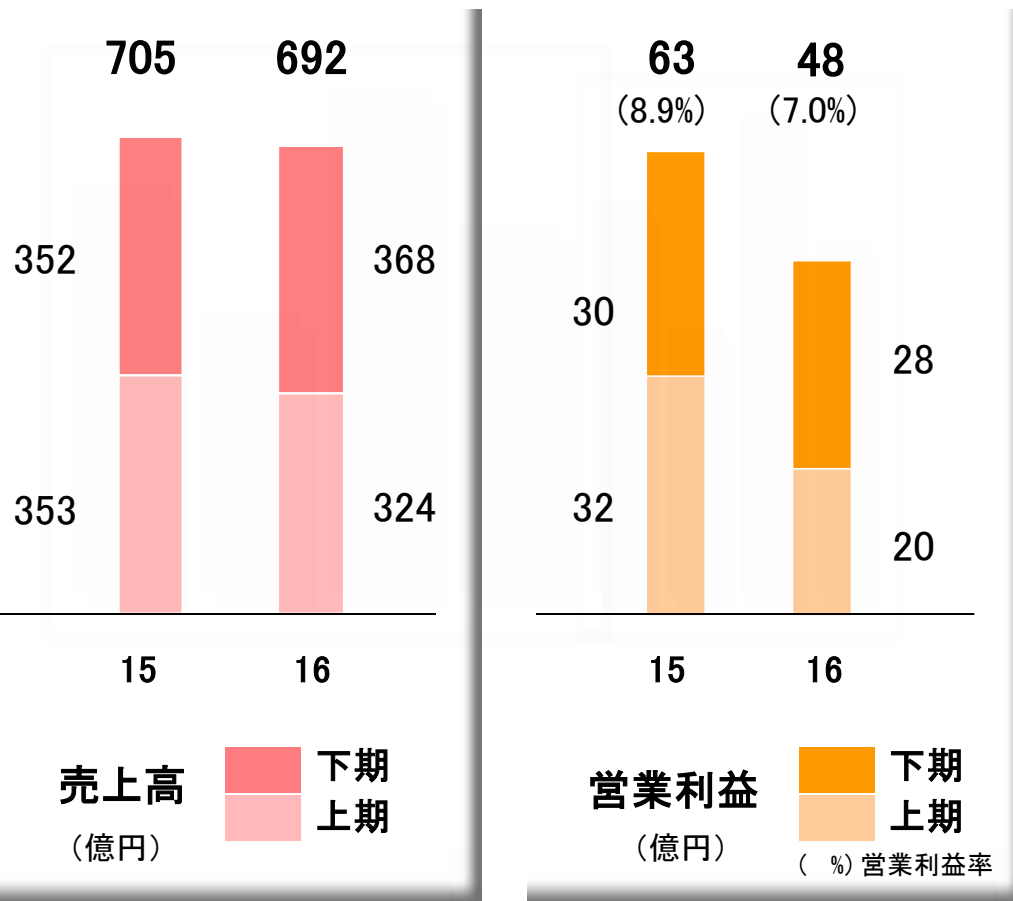
- ・コスモサインSRFは、大手偏光板メーカーへの出荷拡大

● 機能樹脂

- ・ハードレンは、自動車塗料向け好調
- ・エンプラは、海外で数量増

② 産業マテリアル

エアバッグ用基布は、米国、アジアなどで拡販準備進む
 バグフィルター用PPS素材が、中国向けで苦戦



● スーパー繊維

- ・イザナスは、ロープ・釣り糸用途が堅調、ザイロンが伸び悩み

● 機能フィルター

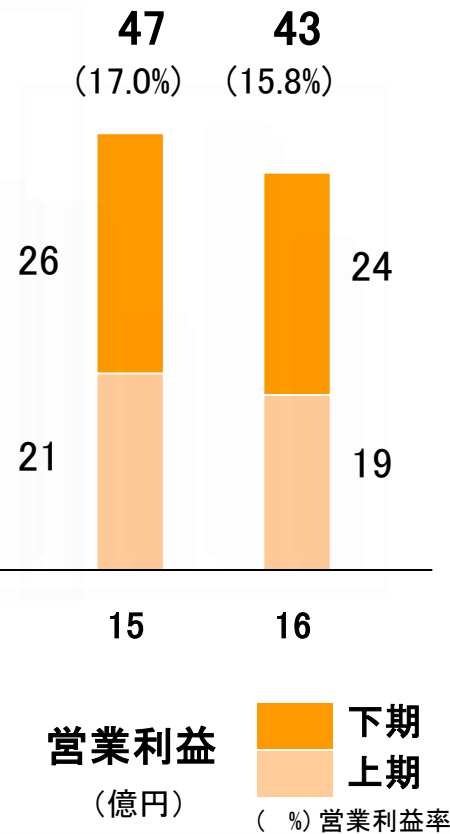
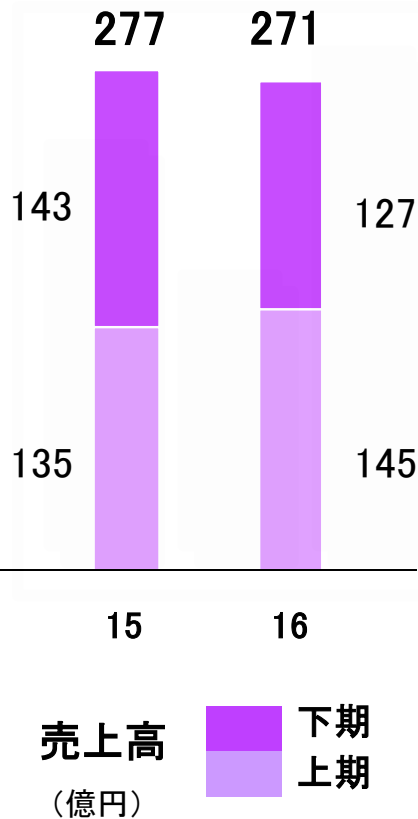
- ・VOC処理装置は、アジア市場で販売伸びる

● エアバッグ用基布

- ・海外の拠点を整備
 拡販体制を強化

③ ヘルスケア

バイオ、アクア膜で為替の影響あり
 メディカル事業は、医薬、医療機器で苦戦



● バイオ

- ・診断薬用酵素は為替の影響あり
- ・ライフサイエンス用試薬、診断システムは好調

● 医薬

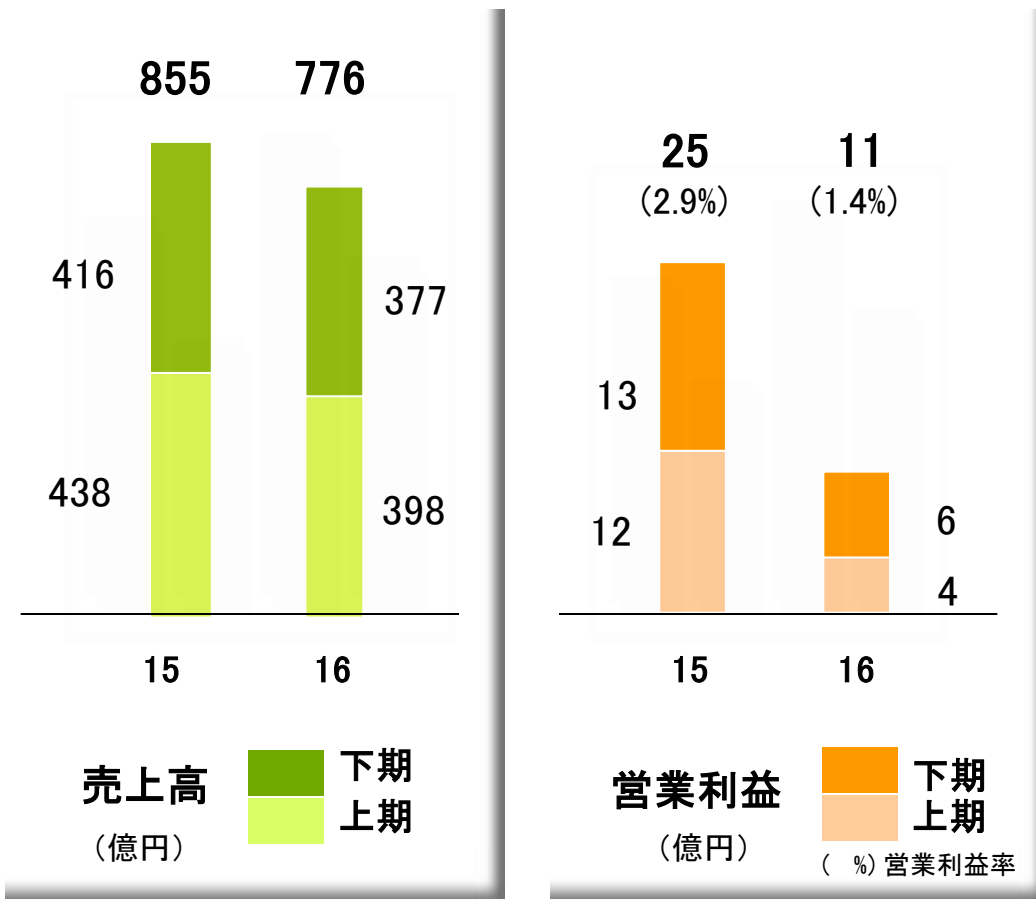
- ・医薬品製造受託は、足元の案件確保に苦戦

● 機能膜

- ・アクア膜は交換膜の販売堅調も、為替の影響あり

④ 繊維・商事

中東向けトープは、為替の影響あり
 アクリル繊維は、中国のアンチダンピング政策を受け苦戦



● 東洋紡STC(繊維)

- ・ユニフォーム事業は堅調
- ・中東向けトープで為替の影響あり

● アクリル繊維

- ・中国市況の軟化に加え、アンチダンピング政策の影響あり
- ・事業構造の改革へ

● ブラジル繊維事業

- ・環境変化を踏まえ休止

Ⅱ. 2017年度業績予想

(1) 業績予想

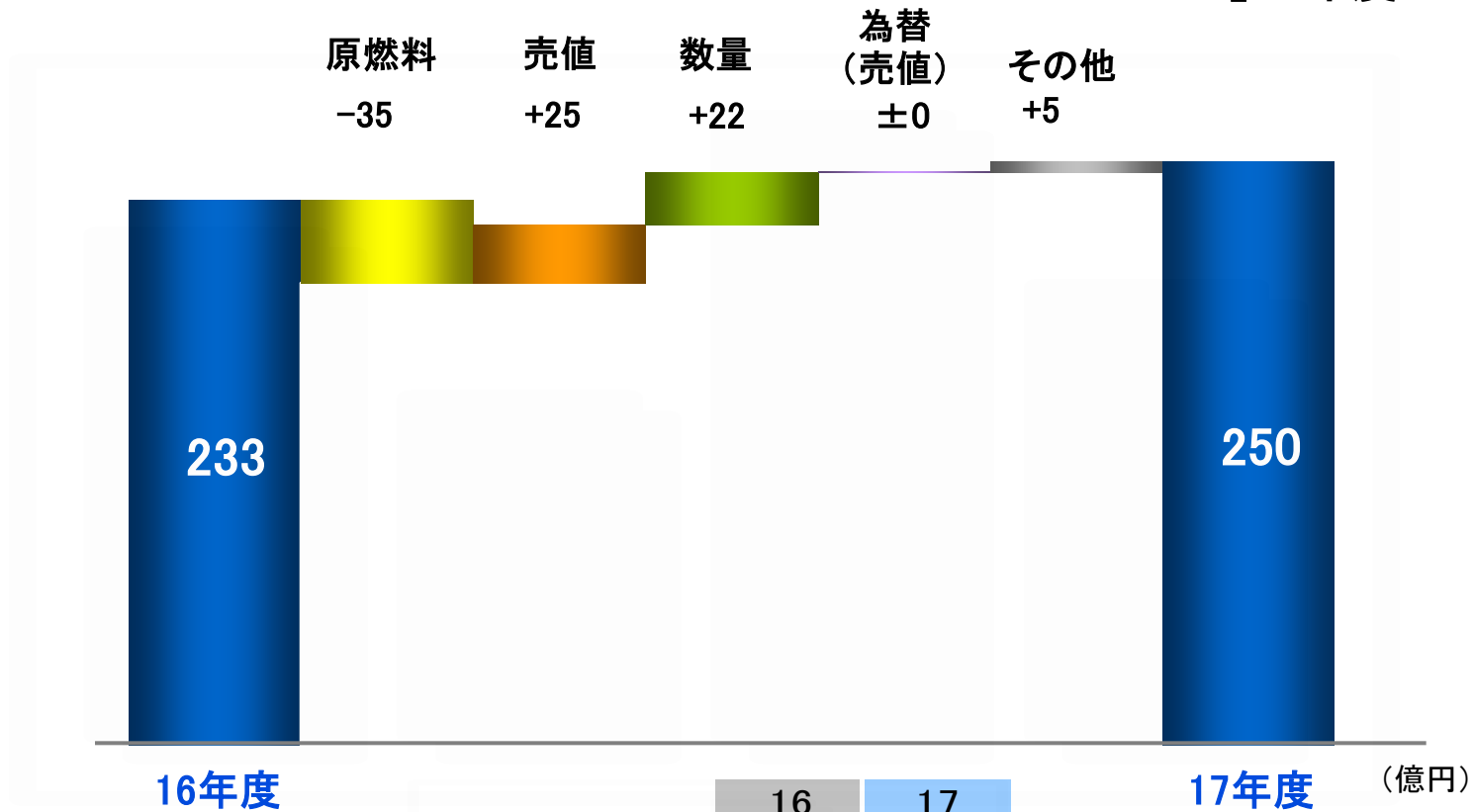
(億円)

	16年度実績	17年度予想	増 減	
			金額	%
売上高	3,295	3,400	+105	+3.2%
営業利益	233	250	+17	+7.1%
(営業利益率)	7.1%	7.4%	-	-
経常利益	207	230	+23	+11.4%
特別損失	72	32	-40	-56.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	94	135	+41	+42.9%
EPS(円)	10.64	※ 15.21	-	-
減価償却費	149	155	+6	-
設備投資	184	190	+6	-
為替レート(円/US\$)	109	110		
国産ナフサ価格(千円/kl)	35	42		

※株式併合の影響考慮後:152.06

営業利益増減要因予想

【16年度→17年度】



	16	17
円レート (円/US\$)	109	110
国産ナフサ (千円/kl)	35	42

(2) セグメント別予想

(億円)

	売上高		営業利益		増減
	16年度	17年度	16年度	17年度	
フィルム・機能樹脂	1,386	1,450	127	137	+10
産業マテリアル	692	740	48	53	+5
ヘルスケア	271	283	43	45	+2
繊維・商事	776	756	11	11	+0
不動産・その他	170	171	33	33	+0
消去・全社	—	—	−29	−29	+0
合計	3,295	3,400	233	250	+17

ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社